

第27期 定時株主総会 招集ご通知

日時

2024年6月20日（木曜日）
午前10時

場所

パレスホテル東京
山吹（4階）
東京都千代田区丸の内1-1-1

末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。
本定時株主総会終了後、「経営近況報告会」を開催いたします。
本定時株主総会および経営近況報告会は、インターネットでライブ配信（生中継）いたします。

目次

株主の皆様へ	1
経営成績について	2
配当金について	3
第27期定時株主総会招集ご通知 （添付書類）	4
事業報告	8
連結計算書類	34
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役6名選任の件	36
第2号議案 補欠監査役1名選任の件	41

株主の皆様へ



代表取締役社長
朝倉 智也

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。当社は、創業来「投資家主権の確立」の理念の下、豊富で偏りのない投資情報の提供と、良質かつ低コストの運用商品の提供を通じて投資家一人一人の最適な資産形成に貢献することを目的に、「顧客中心主義」をかかげて事業に取り組んでまいりました。2023年3月にはお蔭様で創業25周年を迎えることが出来ました。同時に、「モーニングスター」のブランドを米国モーニングスターに売却し、社名の変更も行い、資産運用事業をより強固に推進する体制を整えてまいりました。既に売上と利益の8割が「アセットマネジメント事業」が生み出す事業体制になっておりますが、創業来から取り組む投資教育ならびに投資情報や運用関連ツールを提供する「ファイナンシャル・サービス事業」も当社の重要な事業の一つとして引き続き推進しております。当社は、この「車の両輪」である「アセットマネジメント事業」と「ファイナンシャル・サービス事業」の事業構成を活かすことにより、本格的に動き始めました「貯蓄から資産形成」において、投資家の皆様の最適な資産形成に貢献できるものと考えております。

折しも本年（2024年）1月から施行された「新NISA」制度において、「NISAど真ん中」の企業グループとなるべく、当社では早くから積極的に経営資源を投入して参りましたが、その結果、新NISAのスタートのみならず、本年2月の日経平均株価の最高値更新、そして「インフレ・円安」を契機とした投資家の皆様の資産運用ニーズの拡大において一定の役割を果たしているものと自負しております。

2024年3月期の当社グループの業績につきましては、「ファイナンシャル・サービス事業」、「アセットマネジメント事業」ともに順調に推移いたしました。「ファイナンシャル・サービス事業」におきましては、新たなブランドである「Wealth Advisor」として、これまでの投信評価および投資情報の提供を継続したほか、アフターコロナの進展に伴い特に下半期では資産運用セミナーの開催数が増えたこともあり、堅調な業績を確保いたしました。

また、「アセットマネジメント」事業におきましては、NISAを見据えた多くの特徴ある投資信託商品の投入や、投資家目線に立った既存商品の低コスト化等の施策が奏功し、投資家の皆様のご支持をいただき、運用資産残高の飛躍的な拡大につながりました。

この結果、2024年3月期の当社業績は、対前年比で営業利益、経常利益とも増加し、経常利益は15期連続の増益、13期連続の過去最高益を達成いたしました。なお、当期利益は前年度に計上しましたブランド売却による特別利益が今期はなくなったことから減少となりましたが、配当につきましては、株主の皆様への還元を重視する当社の考えに基づき、前年度比1株当たり50銭の増配となる、年間21円50銭をご提供することとなり、15期連続の増配となります。

引き続き、「投資家主権の確立」に向け、投資家の皆様の最適な資産形成に貢献することで、当社の更なる企業価値拡大に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2024年5月

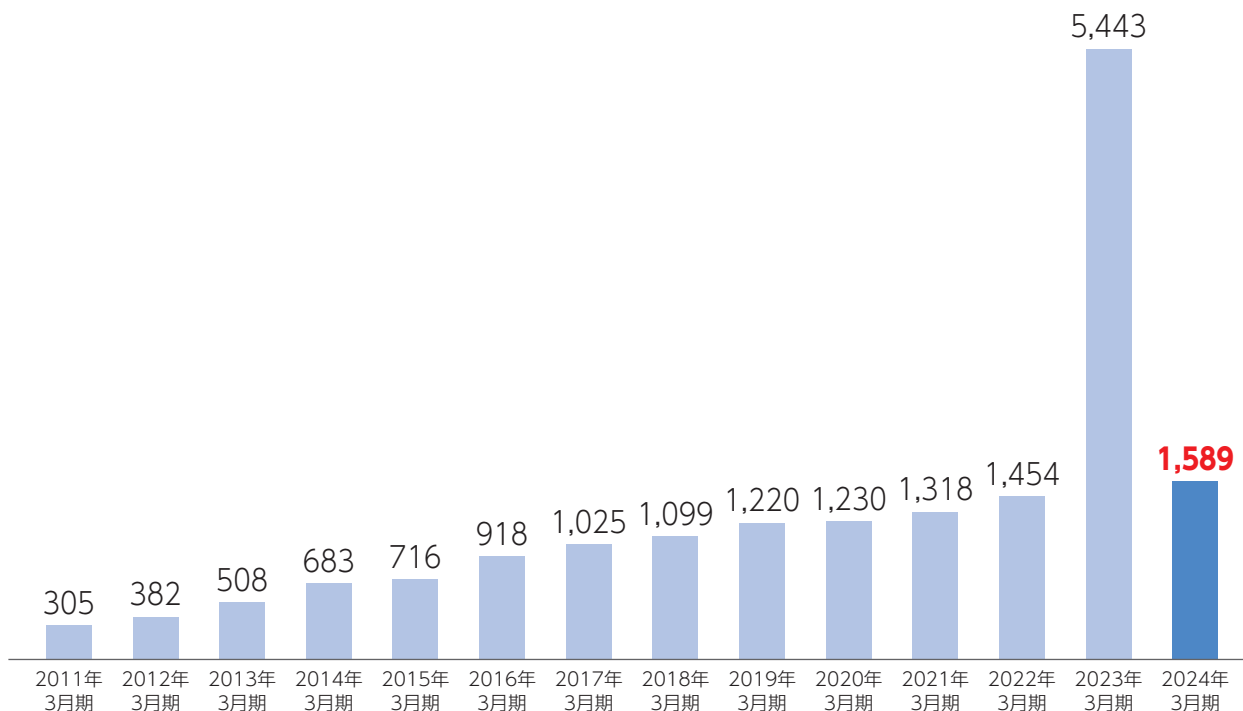
経営成績について

- 2024年3月期の連結売上高は、12期連続の増収、5期連続で過去最高の売上となる10,137百万円となりました。
- 連結営業利益は2,111百万円となりました。
- 連結経常利益は2,510百万円となり、15期連続の増益、13期連続の過去最高益となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は1,589百万円となりました。米国モーニングスター・インクへの「モーニングスター」ブランドの返還対価8,000百万円が計上された2023年3月期を除くと過去最高益となります。

詳細は、事業報告、連結計算書類および計算書類をご参照ください。

親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(単位：百万円)

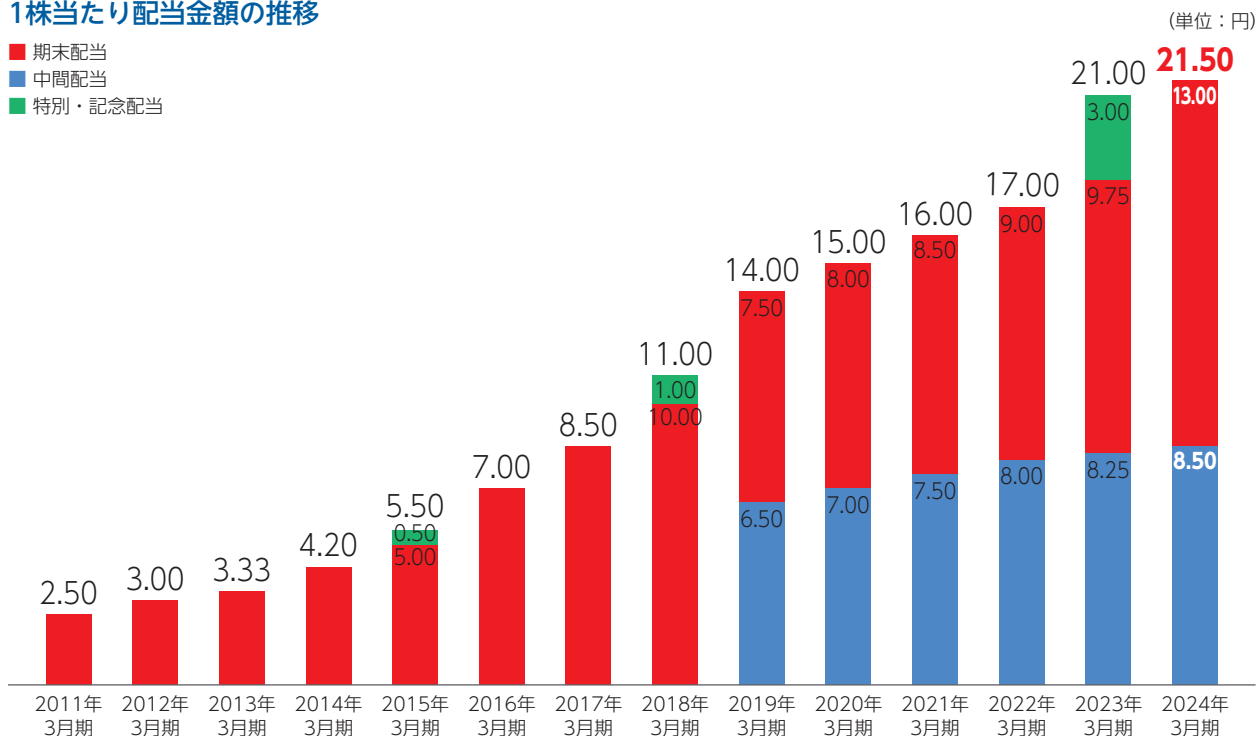


配当金について

- 2024年3月期の配当は、2023年9月30日を基準日とする中間配当を1株につき8円50銭実施し、2024年3月31日を基準日とする期末配当を1株につき13円00銭といたします。合計の年間配当は21円50銭となります。前連結会計年度から普通配当につき3円50銭（19.4%）の増配となります。
- 連続増益・増配を15期以上続ける企業は全上場企業4,036社（2024年4月12日時点）の中で、当社を含めてわずか3社です（当社調べ）。今後も、株主還元を増加を含め、株主価値の向上に努めます。

1株当たり配当金額の推移

- 期末配当
- 中間配当
- 特別・記念配当



※2013年7月1日に普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。

2013年3月期以前の各事業年度は、比較のため、1株当たり期末配当金額に300分の1を乗じた金額を記載しております。

2015年3月期の記念配当は上場15周年記念配当、2018年3月期の記念配当は設立20周年記念配当、2023年3月期の特別・記念配当はブランド売却による特別利益計上と設立25周年記念の特別・記念配当であります。

株主各位

証券コード 4765

(発送日) 2024年5月31日

(電子提供措置開始日) 2024年5月30日

東京都港区六本木一丁目6番1号

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

代表取締役 **朝倉 智也**

第27期定時株主総会招集ご通知

拝啓 日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第27期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、**2024年6月19日（水曜日）午後5時45分**までに、議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。

【郵送による議決権の行使】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

【インターネットによる議決権の行使】

7頁の「インターネットによる議決権の行使のご案内」をご参照のうえ、上記の行使期限までに議決権を行使してください。

敬 具

記

1 日 時	2024年6月20日（木曜日）午前10時
2 場 所	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスホテル東京 山吹（4階） 末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようご注意ください。
3 目的事項	報告事項 1. 第27期（2023年4月1日から2024年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第27期（2023年4月1日から2024年3月31日まで） 計算書類報告の件 決議事項 第1号議案 取締役6名選任の件 第2号議案 補欠監査役1名選任の件

4 招集に際してのその他の決定事項

本株主総会においては、基準日までに書面交付請求をいただいていない株主様も含めて、すべての株主様に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたしますが、法令および当社定款第15条の規定に基づき、当該書面からは、下記の記載事項を除いております。
なお、監査役が監査報告を、会計監査人が独立監査人の監査報告を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類および計算書類には、当該書類記載のもののほか、下記も含まれております。

記

株主総会参考書類 第1号議案 取締役6名選任の件 注記、第2号議案補欠監査役1名選任の件 注記、事業報告の「企業集団の現況」のうち「従業員の状況」、「主要な事業内容」、「主要な営業所」、「主要な借入先の状況」、「直前3事業年度の財産および損益の状況」、「対処すべき課題」、「株式の状況」、「役員に対して交付した株式の数及び交付を受けた者の人数」、「新株予約権等の状況」、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況」、「会社の支配に関する基本方針」、「剰余金の配当等の決定に関する方針」、「連結計算書類」のうち「連結株主資本等変動計算書」、「連結注記表」および「計算書類」、「連結計算書類に係わる会計監査報告」、「計算書類に係わる会計監査報告」、「監査役会の監査報告」

以上

株主総会資料の電子提供

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっております。下記ウェブサイトのいずれかにアクセスのうえ、掲載の「株主総会招集ご通知」をご確認くださいませようようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

<https://www.sbiglobalam.co.jp/ir/meeting/index.html>



(アクセス後、メニューより「株主還元・株主優待」「株主総会」の順にお進みください。)

【SBIアセットマネジメント株式会社ウェブサイト】

http://www.sbi-am.co.jp/gaiyo/gaiyo_gai.html



(アクセス後、メニューより「企業情報」「SBIグローバルアセットマネジメント株式会社株主総会招集ご通知」の順にお進みください。)

【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



(アクセス後、「銘柄名(会社名)」に「SBIグローバルアセットマネジメント」または「コード」に当社証券コード「4765」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄へお進みください。)

- ご返送いただいた議決権行使書において、各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛の表示があったものとして取り扱います。
- 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面として、委任状および委任者の議決権行使書用紙のご提出が必要となります。
- 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、前述の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 株主総会当日までの状況により、会場や開始時刻その他の総会運営に変更が生じる場合がございます。変更後の内容は前述の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 本総会の決議結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト (<https://www.sbiglobalam.co.jp/>)

株主総会および経営近況報告会をインターネットでライブ配信（生中継）いたします。

【株主総会】「経営近況報告会」を、ご来場いただかなくてもリアルタイムで御覧いただけますので、ご利用ください。

本定時株主総会終了後、同会場にて「経営近況報告会」を開催いたします。

「経営近況報告会」は、「株主総会」に引き続き、ライブ配信いたします。

「経営近況報告会」は本定時株主総会とは別に、代表取締役朝倉智也より、当社グループの事業内容、最近の経営状況、今後の展望などについてご説明させていただきます。

株主総会および経営近況報告会のインターネットでのライブ配信については、別紙「株主総会および経営近況報告会のライブ配信のご案内」をご参照のうえ、ご利用ください。

なお、株主総会のライブ配信では、議決権行使はできませんので、事前にインターネットないし郵送による議決権行使をお願いいたします。



インターネットによる議決権行使のご案内

書面による議決権行使に代えて「議決権行使ウェブサイト」にて議決権の行使が可能です。

QRコードを読み取る方法

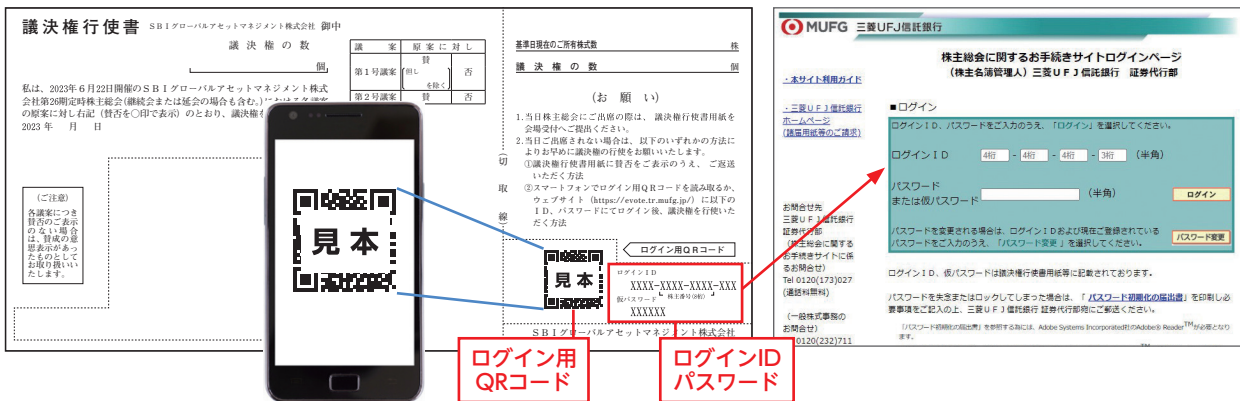
ログインID・仮パスワードを入力することなく、議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

議決権行使書用紙右片に記載のログイン用QRコードを読み込んだ後、画面の案内に従ってご入力ください。

ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

議決権行使書用紙右片に記載の議決権行使コードおよびパスワードにてログインした後、画面の案内に従ってご入力ください。



- (1) 行使期限は2024年6月19日（水曜日）午後5時45分までとなります。
- (2) 書面とインターネットによる議決権行使を重複して行使された場合は、インターネットによるものを有効とします。
- (3) インターネットにより複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効とします。
- (4) パスワード（株主様に変更されたものを含みます。）は今回の総会のみ有効です。次回の株主総会時は新たに発行いたします。
- (5) インターネット接続に係る費用は株主様のご負担となります。

(ご注意)

- ・パスワードは、ご投票される方がご本人であることを確認する手段です。弊社が電話等でパスワードをお尋ねすることはありません。
- ・パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。ロックされた場合、画面の案内に従ってお手続きください。
- ・議決権行使ウェブサイトは一般的なインターネット接続機器にて動作確認を行っておりますが、ご利用の機器によってはご利用いただけない場合があります。
- ・**ご不明点は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。**

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部（ヘルプデスク）

- (1) 議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問い合わせ先
フリーダイヤル **0120-173-027** (9:00~21:00)
- (2) 上記以外の株式事務に関するお問い合わせ先
フリーダイヤル **0120-232-711** (平日9:00~17:00)

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

1 企業集団の現況

(1) 事業の経過および成果

① 組織再編について

当社は昨年（2023年）3月30日に社名を「SBIグローバルアセットマネジメント株式会社」に改めるとともに「モーニングスター」ブランドで営んでおりましたファイナンシャル・サービス事業を「ウエルスアドバイザー株式会社」に継承させ、新たに純粋持株会社に移行いたしました。持株会社となって実質的な初年度である当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）においては、特にアセットマネジメント事業が牽引し、15期連続の経常利益の増益となりました。

なお、「モーニングスター」ブランドについては売却により使用を終了いたしました。ファイナンシャル・サービス事業において、ブランドを「Wealth Advisor」に改めた上で、従来同様の商品およびサービスの提供を行っており、ブランド変更による特段のマイナスの影響はありませんでした。

アセットマネジメント事業においては、主要子会社である「SBIアセットマネジメント株式会社」が、同じく当社子会社であった「新生インベストメント・マネジメント株式会社」を2023年4月1日付で合併した他、SBIアセットマネジメントへの当社の出資比率を引き上げるなどの経営強化策を実施しております。

② 経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの脱却により社会経済活動の正常化が進展する中、ウクライナ情勢や中東における紛争等の影響があったものの、相対的に順調な環境下にあり、特に年度後半については、2024年2月に日経平均株価が史上最高値を更新し、同3月には日銀の金融政策が大きく転換される等の歴史的なイベントも相次ぎました。また、当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、2024年1月から開始された「新NISA」制度も追い風となり、総じて順調な推移となりました。

このような経営環境下で、当社グループのアセットマネジメント事業は、公募の投資信託の当連結会計年度末での運用残高が、前連結会計年度末の1兆4,413億円から88.3%と大幅に伸長し、2兆7,144億円となりました。従前から取り組んでおります資産の「成長」を追求する低コストのインデックスファンドの残高が、同時期に1兆2,402億円から2兆3,465億円と89.2%増加したことに加え、「成長と分配」を追求する目的で新たに投入した「SBI日本高配当株式（分配）ファンド」をはじめとした年4回の分配型商品は、投資家の人気を博し、アクティブファンドの純資産残高も同期末比で82.9%も増加いたしました。既存ファンドにおいても、2023年6月に定めた当社のプロダクトガバナンス方針に基づき、信託報酬の引き下げや、受益者目線に立った商品ラインナップの再構築を図るなど、年度を通じて「顧客中心主義」に基づく施策を実施してまいりました。

また、主として地域金融機関の有価証券運用の高度化と多様化を支援する私募の投資信託の運用残高は、前連結会計年度末の2兆4,081億円から1.7%増加し、当連結会計年度末には2兆4,485億円となりました。受託資産が債券中心であるため、国内外の金利上昇は厳しい環境でありましたが、当社の顧客ニーズに即した営業活動が奏功したことで、2024年2月には、単月での純資金流入額が全運用会社の中で首位となる成果を上げました。

この結果、当社グループ全体の当連結会計年度末の運用残高は、前連結会計年度末の4兆6,928億円から、26.2%の増加となる5兆9,224億円に達しました。

また、アセットマネジメント事業の当連結会計年度の売上高は前連結会計年度比で20.0%増の8,210百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業では、投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisor」の提供先が2024年3月末時点で526社となり、その提供先に対して、「ライフプランシミュレーション」、「ロボ・アドバイザー」、「相続シミュレーション」等の「フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）」に資する様々なツールを提供してまいりました。

また、コロナ禍から脱しつつあった社会情勢と、新NISA導入に代表される資産運用ニーズの高まりを背景に、日本各地の地方銀行とともに開催する資産運用セミナーについても、実際に会場で行う対面型が前連結会計年度と比較し4倍となる16件に大幅に増加するなど順調な回復が見られました。これらにより、当連結会計年度のファイナンシャル・サービス事業の売上高は前連結会計年度比1.1%増収の1,927百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社連結業績は、売上高が前連結会計年度の8,747百万円から1,390百万円（15.9%）の増収となる10,137百万円となり、過去最高を記録するとともに初めて100億円の大台に乗ることとなりました。

また、前連結会計年度と比べ、売上原価が695百万円増加し、販売費及び一般管理費が414百万円増加した結果、当連結会計年度の営業利益は、前連結会計年度の1,831百万円から280百万円（15.3%）の増益となる2,111百万円となりました。

営業外損益は、前連結会計年度と比べ、営業外収益が239百万円、営業外費用は10百万円それぞれ減少した結果、当連結会計年度の経常利益は、前連結会計年度の2,458百万円から51百万円（2.1%）の増益となる2,510百万円となり、15期連続の増益、および13期連続の過去最高を更新しました。

なお、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年度に計上された『モーニングスター』ブランドの売却に伴う特別利益（8,000百万円）が今期は剥落したことから、3,853百万円（△70.8%）の減益となる1,589百万円となりました。

売上高

8,747百万円 ▶ **10,137百万円** 前期比 15.9%増

営業利益

1,831百万円 ▶ **2,111百万円** 前期比 15.3%増

経常利益

2,458百万円 ▶ **2,510百万円** 前期比 2.1%増

親会社株主に帰属する当期純利益

5,443百万円 ▶ **1,589百万円** 前期比 70.8%減

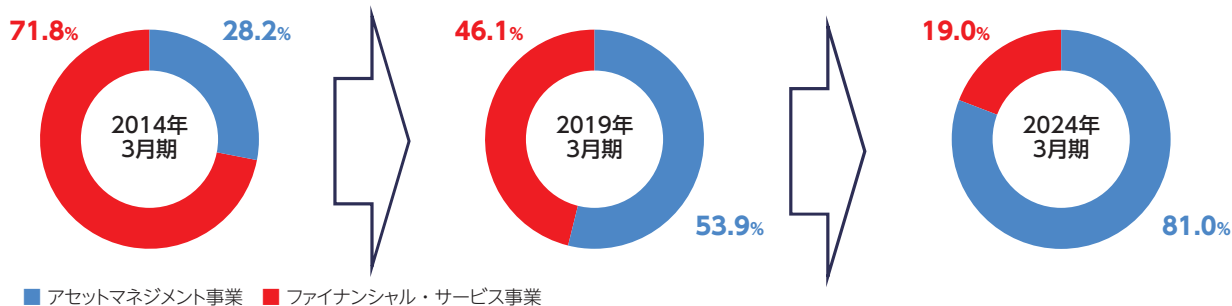
(2) サービス別売上およびセグメント利益

	2023年3月期			2024年3月期		
	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額
売上高	6,841	1,905	8,747	8,210	1,927	10,137
セグメント利益	1,484	346	1,831	1,766	344	2,111

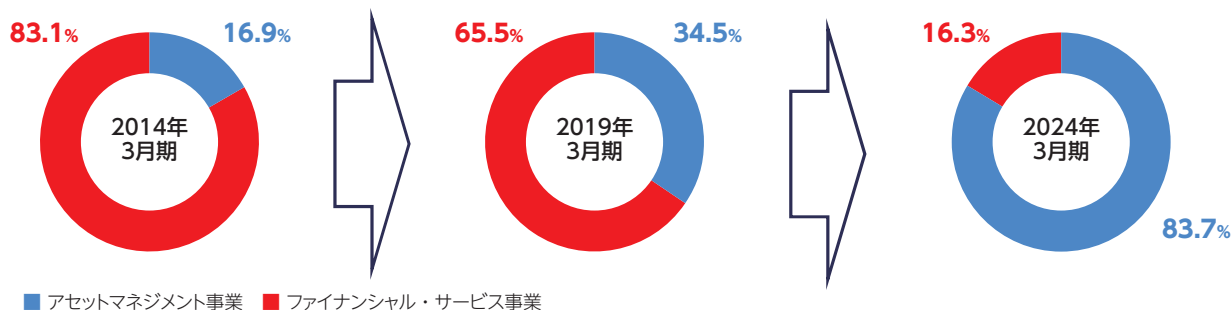
セグメント別売上および利益

事業環境の変化に応じて事業ポートフォリオを再編し、企業価値を拡大

・セグメント別売上の構成比の変化

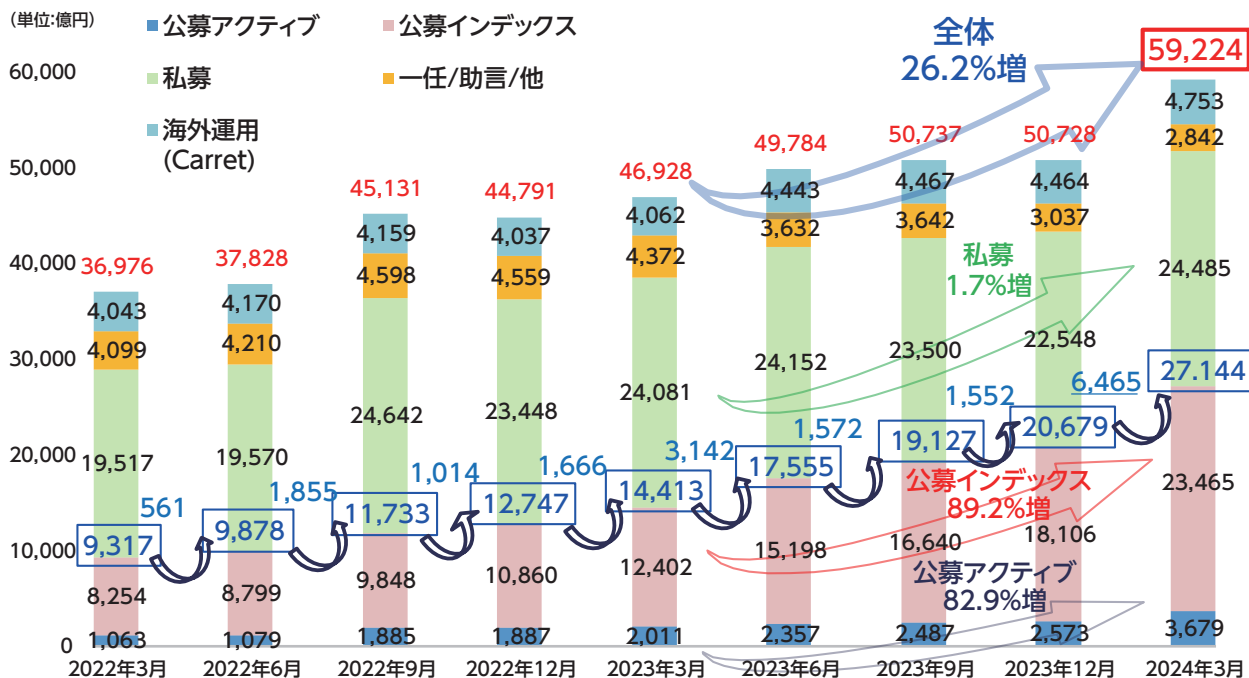


・セグメント別利益の構成比の変化



当社グループの運用残高の推移

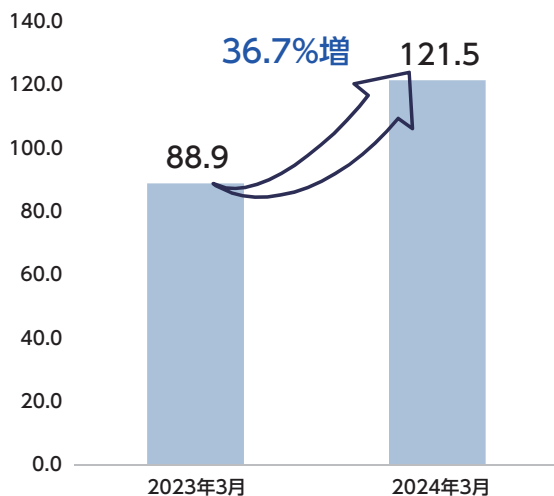
2024年3月末時点で運用残高は6兆円に迫る



投信業界全体とSBIアセットマネジメントの 公募株式投信の運用残高の伸び

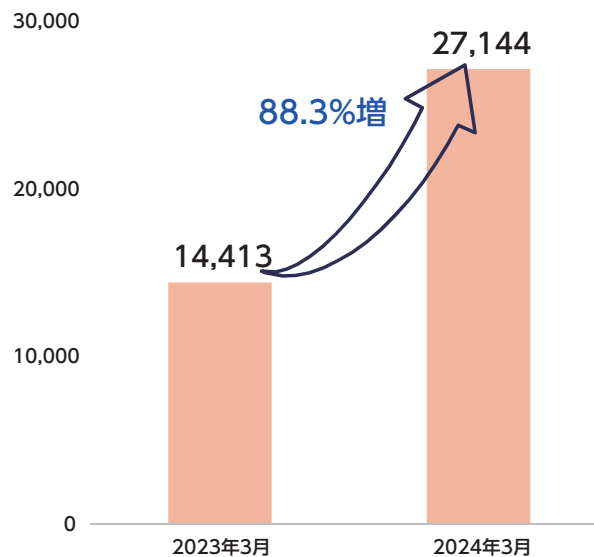
<投資信託合計>
公募追加型株式投信 (除<ETF>)

(単位:兆円)



<SBIアセットマネジメントの
公募株式投信の運用残高>

(単位:億円)



※出所:一般社団法人投資信託協会のデータ

2023年度は25本の新規ファンドを設定

設定日	ファンド名	信託報酬(%)	純資産残高 (百万円)
1	SBI・iシェアーズ米国総合債券インデックス・ファンド	0.0938	7,124
2	SBI・iシェアーズ米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド	0.1038	438
3	SBI・iシェアーズ米国ハイイールド債券インデックス・ファンド	0.1438	875
4	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド	0.1238	7,478
5	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138	1,337
6	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1338	187
7	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138	680
8	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1438	815
9	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)	0.1838	1,508
10	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)	0.1838	9,401
11	SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド	0.1338	844
12	SBI・iシェアーズ・日経225インデックスファンド	0.1133	4,200
13	SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド	0.1133	2,107
14	8月23日 SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・ファンド	0.2388	3,331
15	9月22日 SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド	0.4638	51,252
16	10月20日 EXE-i グローバルサウス株式ファンド	0.5820	4,423
17	11月28日 SBI日本国債(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	324
18	12月12日 SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	69,398
19	1月30日 SBI・SPDR・S&P500高配当株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1338	2,569
20	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1238	8,441
21	SBI欧州高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	10,067
22	2月28日 SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.0938	558
23	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1038	97
24	SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1438	235
25	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1238	1,206

純資産残高は2024年4月24日現在

投資家に人気の新規設定ファンドの純資産残高



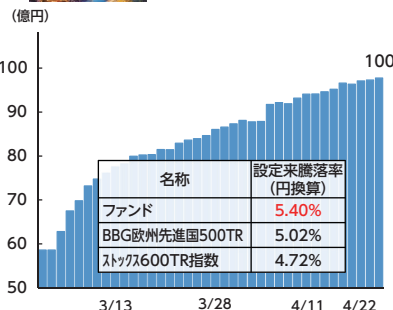
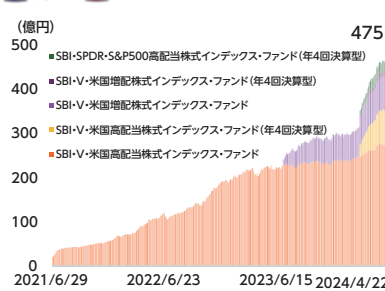
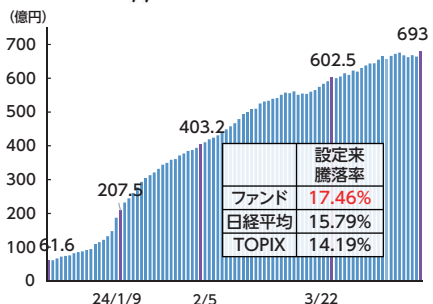
日本高配当株式
693億円



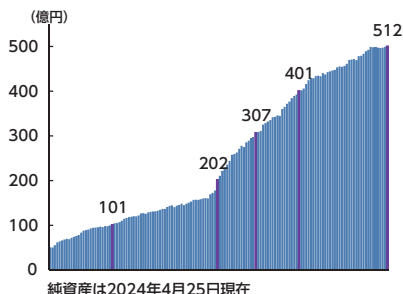
米国高配当・増配株式
475億円



欧州高配当株式
100億円



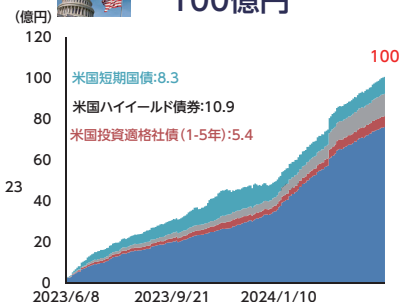
インド株式
512億円



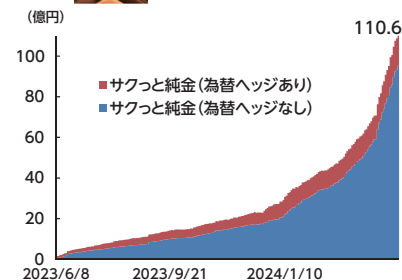
純資産は2024年4月25日現在



米国債券
100億円

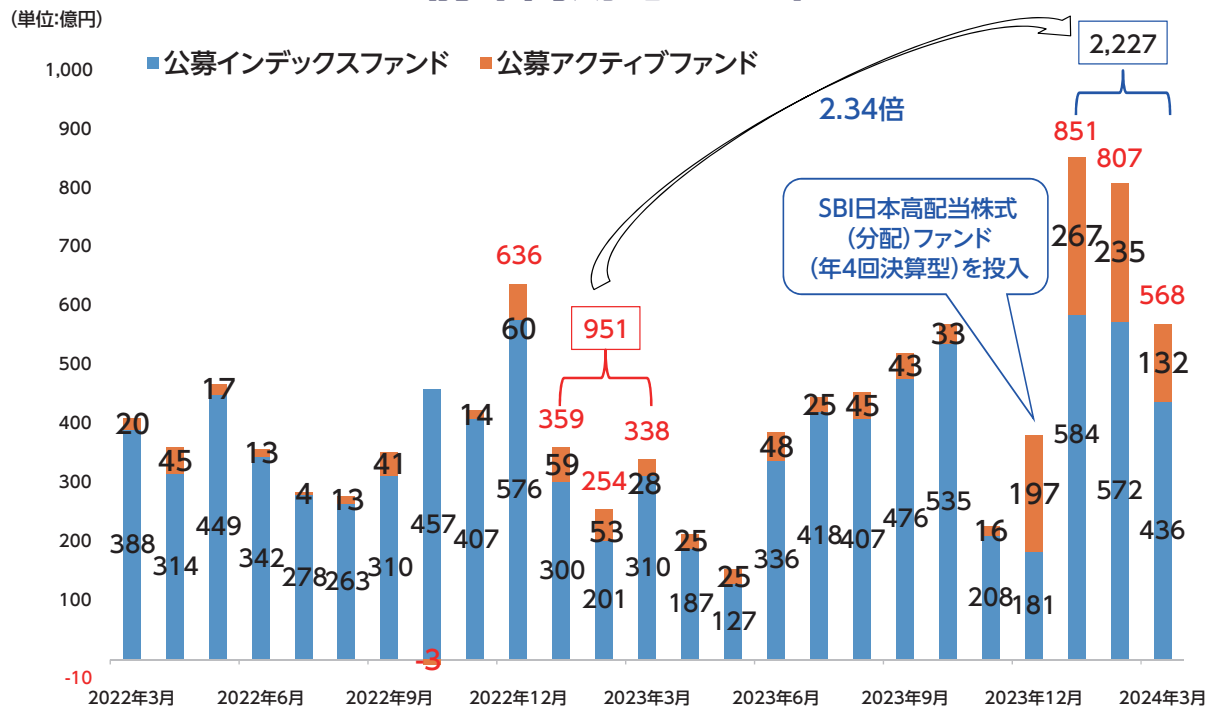


金(ゴールド)
111億円

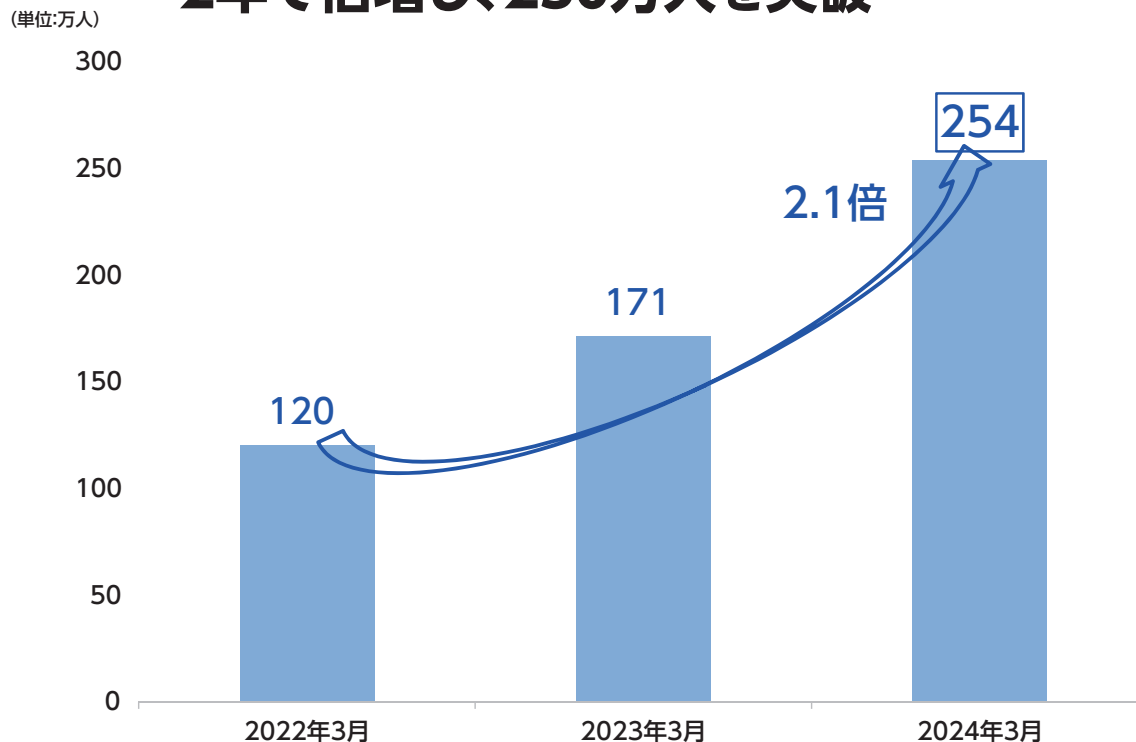


SBIアセットの公募株式投信の月次純資金流入額

新NISAが始まった2024年1月以降の3カ月間で2,227億円の純資金流入
前年同期比:2.34倍

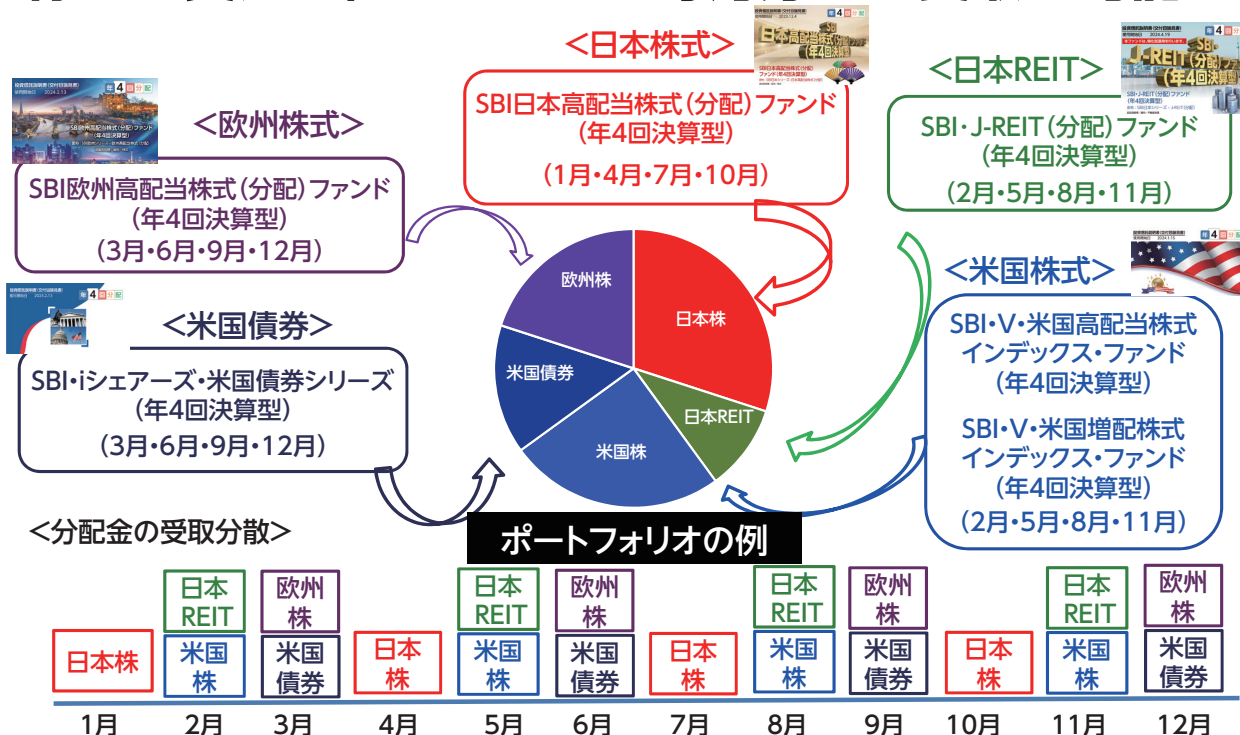


SBIアセットの公募ファンドの受益者数は 2年で倍増し、250万人を突破



※ SBI証券で購入した受益者数

年4回分配型ファンドを拡充 様々な資産を組み合わせて毎月分配の受取が可能に



「顧客中心主義」のプロダクト・ガバナンスの強化 (1)

既存ファンドの商品改善と信託報酬の引き下げ

EXE-i 先進国債券ファンド

- ・2013年5月設定
- ・投資対象: **先進国債券(除く日本)**
- ・実質的な信託報酬: **年0.4110%**

・投資対象の拡大
・コストの大幅削減

SBI・i シェアーズ・

全世界債券インデックス・ファンド

- ・投資対象: **全世界債券**
- ・実質的な信託報酬: **年0.1098%**

ファンド名	設定日	従来の 信託報酬	純資産総額 2023年末	約款変更日	引下げ後 信託報酬	引下率	純資産総額 2024/4/24 現在	資産純増額 (率)
SBI・i シェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド (旧名称:EXE-i先進国債券ファンド)	2013/5/13	0.4110%	16.03 億円	2月10日	0.1098%	-73%	29.16 億円	13.1億円 81.9%
EXE-i 新興国株式ファンド	2013/5/13	0.3615%	170.54 億円	2月10日	0.1761%	-51%	188.81 億円	18.3 億円 10.7%
EXE-i 全世界REITファンド (旧名称:EXE-i グローバルREITファンド)	2013/5/13	0.3405%	37.48 億円	2月10日	0.2170%	-36%	36.60 億円	-0.8 億円 -2.4%
EXE-i 全世界中小型株式ファンド (旧名称:EXE-i グローバル中小型株式ファンド)	2013/5/13	0.3110%	157.60 億円	2月10日	0.2520%	-19%	171.38 億円	13.8 億円 8.7%
EXE-i 先進国株式ファンド	2013/5/13	0.3090%	272.71 億円	2月10日	0.2990%	-3%	312.03 億円	39.3 億円 14.4%
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	2005/10/28	0.9240%	9.71 億円	1月27日	0.1100%	-88%	10.54 億円	0.8 億円 8.6%
SBI・全世界株式インデックス・ファンド (愛称:雪だるま(全世界株式))	2017/12/6	0.1102%	1,564.19 億円	2月14日	0.1022%	-7%	1,928.08 億円	364 億円 23.3%
SBI・先進国株式インデックス・ファンド (愛称:雪だるま(先進国株式))	2018/1/12	0.1017%	205.38 億円	2月14日	0.0982%	-3%	242.20 億円	36.8 億円 17.9%

「顧客中心主義」のプロダクト・ガバナンスの強化 (2)

既存アクティブファンドの選択と集中

2023年6月

「プロダクト・ガバナンス」宣言

- 投資家の資産形成に資する商品提供
- 情報提供・情報開示の強化
- 商品性・適合性のモニタリングと改善



*アクティブファンド57ファンドのうち
3年以内に50% (29本) の削減

2024年3月

償還日	償還ファンド名
1 7/5	SBIポストコロナファンド
2 7/6	早期償還条項付・新興国債券戦略1912
3	米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式コース
4 7/26	米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース
5	SBI・GS NexGen(代替エネルギー)
6	SBI・GS NexGen(グローバルEV)
7	SBI・GS NexGen(高成長DX)
8 9/21	SBI・GS NexGen(先端医療)
9	SBI・GS NexGen(次世代通信)
10	SBI ジェンダー・フリー インデックス・ファンド
11	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり) <資産成長コース>
12	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり) <年3%定率払出しコース>
13 11/6	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり) <年5%定率払出しコース>
14	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり) <年7%定率払出しコース>
15 11/9	SBI-PIMCO ジャパン・ベターインカム・ファンド(愛称:ベタイン)
16	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり) <資産成長コース>
17 2024 1/12	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり) <年7%定率払出しコース>
18	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり) <年15%定率払出しコース>

目標29本中18本償還完了:進捗率62%

2025年3月

4本の繰上げ償還を予定
⇒計22本
進捗率76%(予)

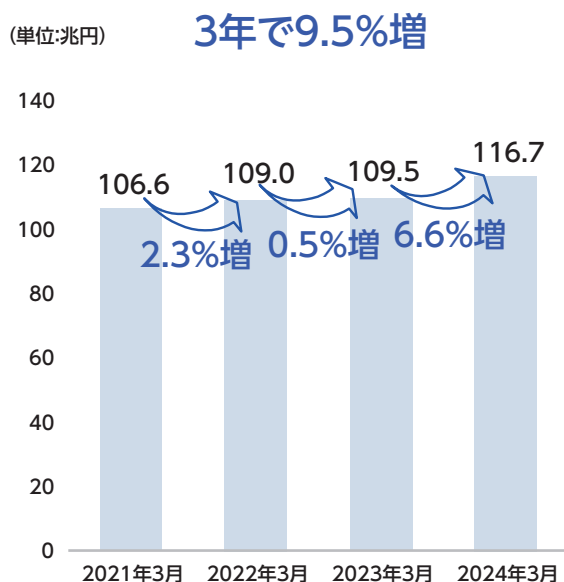


2026年6月

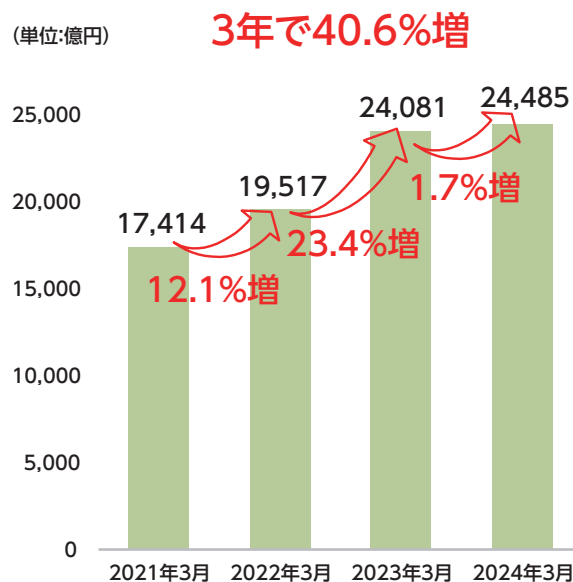
償還延長の停止を含む
7本の償還を予定
進捗100%(予)

投信業界全体とSBIアセットの私募投信の残高の伸び

<投信業界全体の私募投信残高>
(過去3年推移)



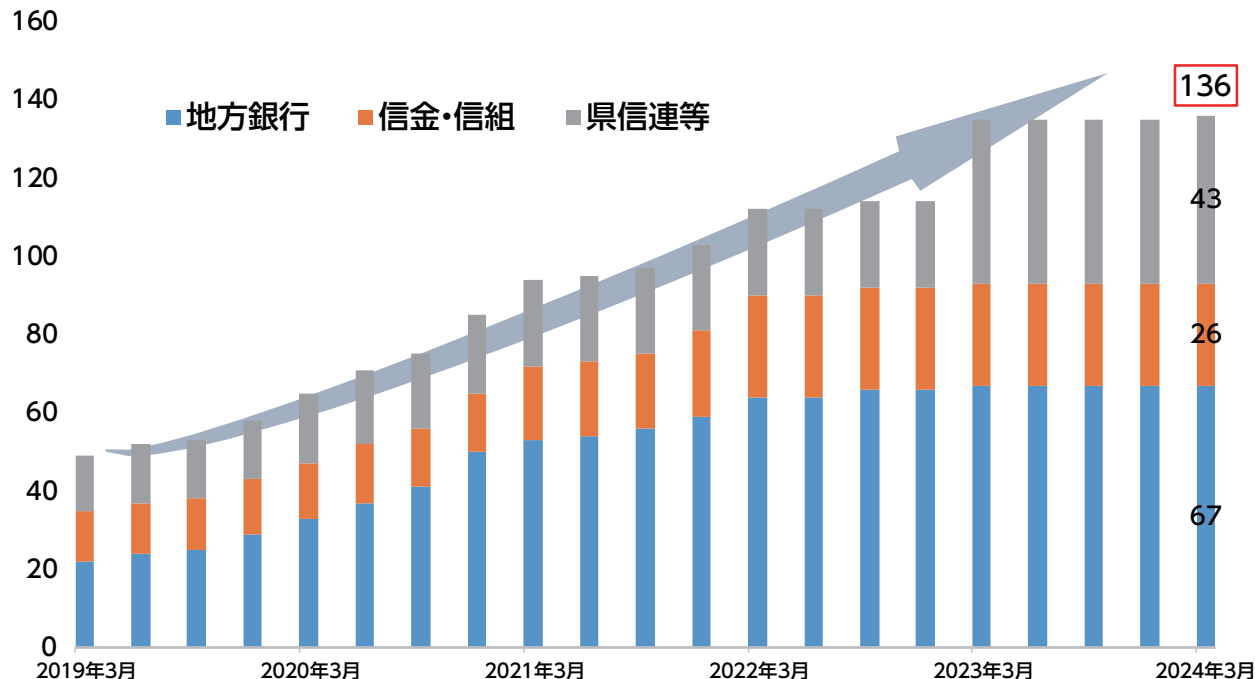
<SBIアセットの私募投信残高>
(過去3年推移)



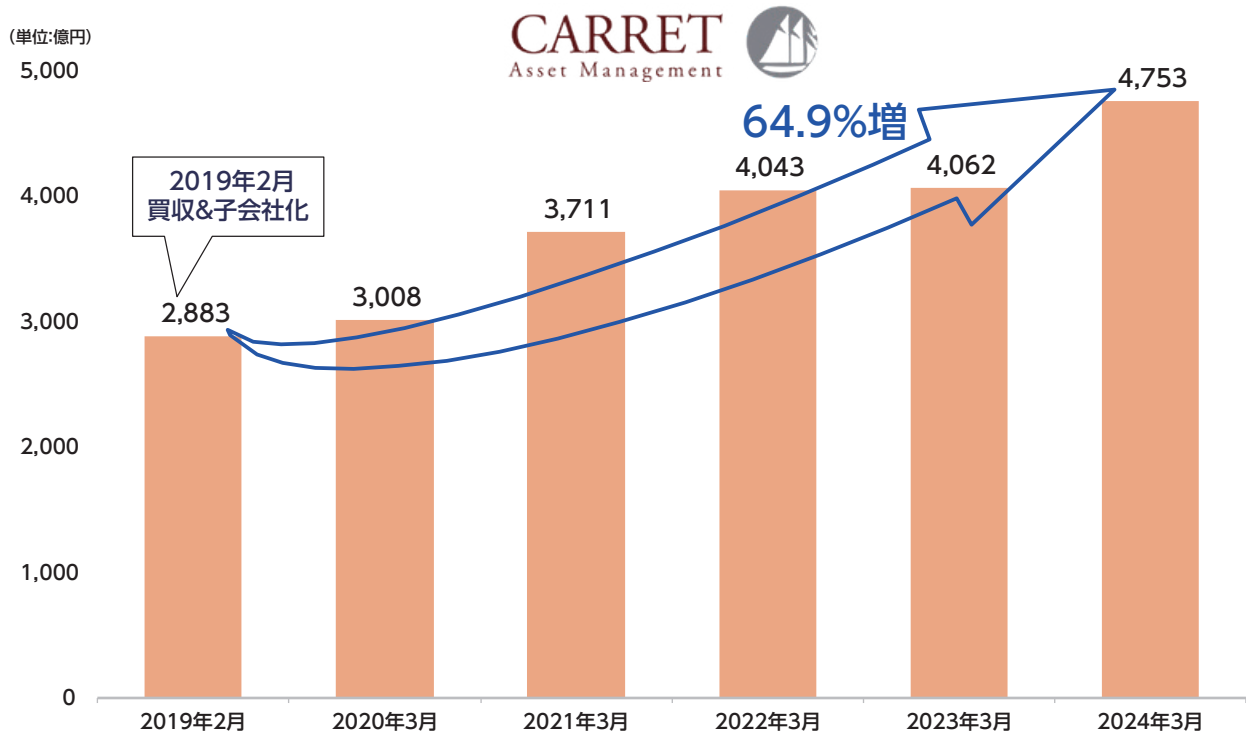
地方銀行を中心に136の機関投資家から運用を受託

機関投資家の運用受託数の推移

(単位:取引先数)



米国Carretアセットマネジメントは当社買収後に 大幅に運用残高を伸ばす



的確な投資情報と投資教育活動を通じて 「投資家主権の確立」に貢献する

対面販売金融機関

プロダクト・アウトから
ゴールベース・アプローチへ

- Wealth Advisor
- ライフプラン
シミュレーション



ネット販売金融機関

適切な投資情報の提供

- 分析・評価データ
- 運用シミュレーション
ツール



運用会社

適切な情報開示と
投資家への訴求

- ファンド分析レポート
- マーケティング支援



個人投資家

最適な資産形成

- 良質な投資情報
- 資産運用セミナー
- 投資助言



「投資家主権の確立」に貢献

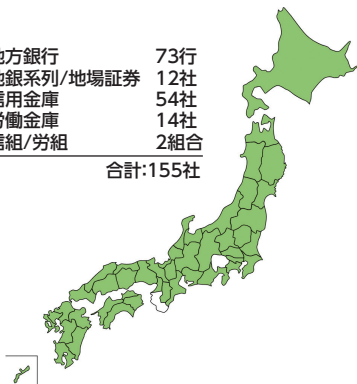
SBIグループが推進する「地方創生」にも幅広く貢献

「対面販売支援」

Wealth Advisor (対面) ライフプランシミュレーション

地域金融機関における導入状況

・地方銀行	73行
・地銀系列/地場証券	12社
・信用金庫	54社
・労働金庫	14社
・信組/労組	2組合
合計:	155社



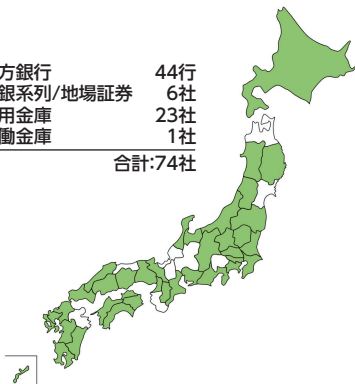
「オンライン関連」

ライフプランシミュレーション ロボアドバイザー 相続シミュレーション

その他多数のコンテンツ

地域金融機関における導入状況

・地方銀行	44行
・地銀系列/地場証券	6社
・信用金庫	23社
・労働金庫	1社
合計:	74社



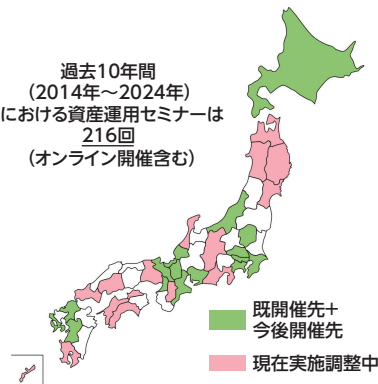
「資産運用イベント」

セミナー ブース

対面orオンライン

地域における実施状況

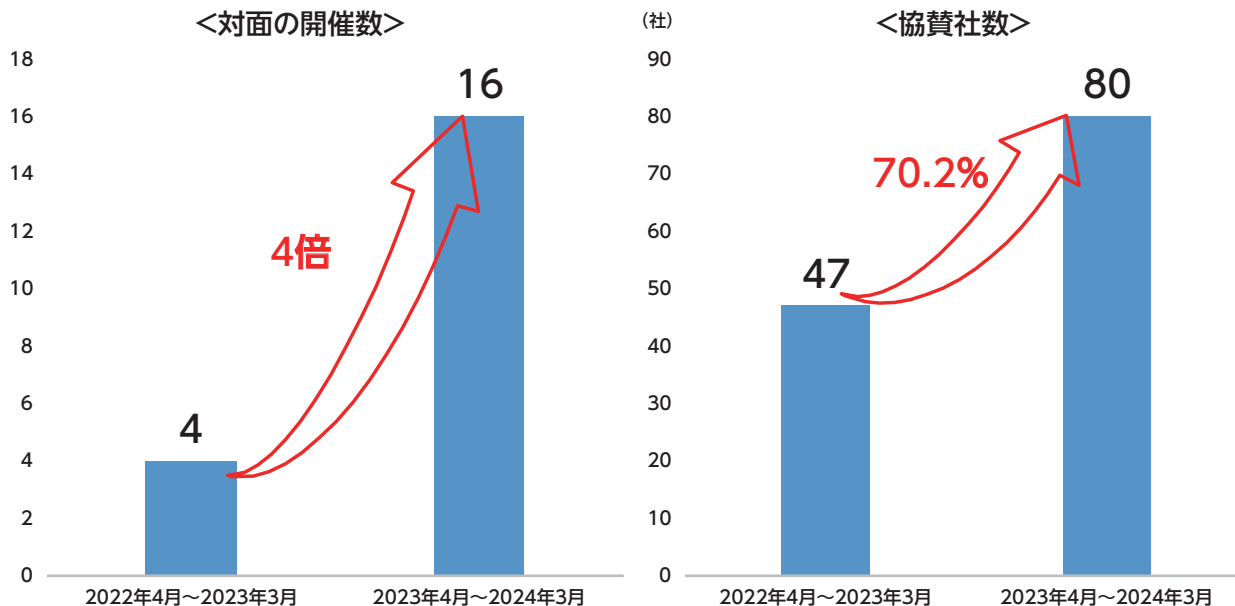
過去10年間
(2014年～2024年)
における資産運用セミナーは
216回
(オンライン開催含む)



地域金融機関=地方銀行・地方銀行系列証券/地場証券・信用金庫・労働金庫・信用組合・労働組合

「貯蓄から資産形成」を後押しする 各地方でのセミナーは今後も更に増加する

<資産運用セミナー>



全国各地で活況を呈する資産運用フェア

新NISA制度開始前後の資産運用フェア

年	月日	主催企業	参加者	場所
2023年	9/30(土)	足利銀行	352名	宇都宮市
	11/11(土)	京都銀行/京銀証券	126名	京都市
	11/18(土)	三井住友フィナンシャルグループ	724名	東京都
2024年	1/27(土)	ふくおかフィナンシャルグループ	457名	福岡市
	2/18(日)	横浜銀行/神奈川銀行/浜銀TT証券	389名	横浜市
	4/6(土)	肥後銀行/九州FG証券	234名	熊本市
	4/14(日)	北洋銀行/北洋証券	253名	札幌市
	4/20(土)	千葉銀行/ちばぎん証券	329名	千葉市



宇都宮セミナー風景



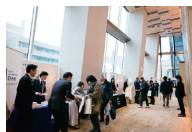
宇都宮ブース風景



福岡セミナー風景



福岡ブース風景



横浜セミナー風景



横浜ブース風景



(3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は437百万円であります。主な内訳は、アセットマネジメント事業に係る投信システムの統合、ファイナンシャル・サービス事業に関わるソフトウェアを中心とした提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のためのシステム投資であります。

(4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(5) 重要な組織再編の状況

前連結会計年度末より、以下の組織再編を実施しております。

SBIアセットマネジメント株式会社と新生インベストメント・マネジメント株式会社の合併

2023年4月1日付で、連結子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社と、同じく連結子会社であった新生インベストメント・マネジメント株式会社は、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とする吸収合併を行いました。

なお、重要な組織再編の状況については、「電子提供措置事項記載書面非記載事項 連結計算書類 連結注記表 12. 企業結合に関する注記」でも説明しています。

(6) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社の状況

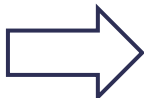
会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	100	52.7	親会社、主要株主である筆頭株主 SBIホールディングス株式会社の 100%子会社であります。
SBIホールディングス株式会社	180,400	(52.7)	親会社 事務所および不動産設備の転貸借、 人件費の立替、役員の兼任等

(注) 当社に対する議決権比率欄の()内は、間接被所有割合であります。

親会社であるSBIホールディングス株式会社との取引については、他の取引先と同様の基本条件、公正な市場価格によって行うとの基本方針をもって、同社との協議を行いその内容を決定しており、少数株主の利益を害することのないように取引を行っております。

当社取締役会も同様の理由で、SBIホールディングス株式会社との取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

② 子会社の状況 (2024年4月1日現在)



(2023年3月30日付)

<アセットマネジメント事業>

良質かつ低コストの
運用商品の提供

PIMCO

100%

2.1%

97.9%

100%



米国New York



100%



My投資信託 My仮想通貨 株式新聞

SBI Global Asset Management
SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

SBI Asset Management
SBIアセットマネジメント株式会社

SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント
SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社

SBI Alternative Fund
SBIオルタナティブ・ファンド合同会社

WEALTH ADVISOR
ウェルズアドバイザー株式会社

Carret Asset Management
Carret Holdings, Inc.
Carret Asset Management LLC

SBIオルタナティブ・
インベストメント・マネジメント



SBI暗号資産ファンド
(匿名組合1号)



2 会社の役員の状況

(1) 取締役および監査役の状況 (2024年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当	会社における地位	氏名	担当
代表取締役社長	朝 倉 智 也	経営全般	常勤監査役	後 藤 淳 夫	常勤監査
取締役	北 尾 吉 孝	—	社外監査役	長 野 和 郎	—
社外取締役	大 鶴 基 成	—	社外監査役	小 竹 正 信	—
社外取締役	ピリー・ウェード・ワイルダー	—			
社外取締役	山 澤 光 太 郎	—			
社外取締役	堀 江 明 弘	—			

- (注) 1. 当社は、補欠監査役に神山敏之氏を選任しております。
2. 取締役大鶴基成氏、取締役ピリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏および取締役堀江明弘氏は社外取締役であります。監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏は社外監査役であります。
3. 当社は、取締役大鶴基成氏、取締役ピリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏、取締役堀江明弘氏、監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。
4. 当事業年度中の取締役および監査役の異動はありません。
5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社全取締役および全監査役を被保険者とし、被保険者の損害賠償請求による損害等を当該保険契約によって填補することとしています。

(2) 取締役および監査役の報酬等

① 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針の内容は次のとおりです。

- ・取締役の報酬は、固定報酬である基本報酬のほか、会社業績等に基づく賞与で構成されており、株主総会で承認された報酬総額の範囲内において、取締役会が各取締役の職務内容・責任・権限・貢献度等を勘案して支給額を決定する。
- ・取締役の基本報酬は、月例の金銭報酬とし、従業員給与の最高額、過去の同順位の取締役の支給実績、当社の業績見込み、取締役の報酬の世間相場、当社の業績等への貢献度、就任の事情、前年の報酬額、その他を考慮し、支給額を取締役ごとに定める。取締役全体の基本報酬の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の報酬等について代表取締役がこれを決定する。
- ・取締役に賞与を支給する場合は、個々の取締役の職責や職務執行状況等を基礎とし、経営環境等も踏まえ、当該取締役の貢献度を総合的に勘案して、取締役会が各取締役の支給額を決定する。取締役の賞与の総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の賞与について代表取締役がこれを決定する。

なお、現在、非金銭報酬の支給の予定はなく、その方針は定めておりません。

取締役会は、取締役の個人別報酬について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針に沿うものであると判断しております。

② 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	当事業年度に係る報酬等の総額		うち社外役員分	
	支給人員 (名)	支給額 (千円)	支給人員 (名)	支給額 (千円)
取締役	5	43,950	4	25,200
監査役	2	12,400	1	3,900
合 計	7	56,350	5	29,100

- (注) 1. 上記の取締役の報酬等は、すべて基本報酬であります。当事業年度の取締役の個人別の報酬等については、支給人数が少数であり、前年の報酬額を基礎に決定するため、当事業年度の取締役全体の基本報酬の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役社長朝倉智也に個人別の報酬等についての決定権限を一任し、代表取締役社長朝倉智也がこれを決定いたしました。
2. 取締役および監査役の支給人員及び支給額には、当事業年度において在任した取締役および監査役のうち、無報酬の取締役1名および監査役1名は含んでおりません。
3. 2000年3月21日開催の第4期定時株主総会決議による報酬限度額は、取締役年額500百万円以内、監査役年額100百万円以内であります。
4. 上記3.の株主総会決議時点における対象となる取締役の員数は5名（うち社外取締役は4名）、監査役の員数は2名（うち社外監査役は1名）となります。

(3) 重要な兼職の状況

氏名	会社名	役職名
朝倉智也	SBIホールディングス株式会社	取締役副社長
	SBIアセットマネジメントグループ株式会社	代表取締役社長
	SBIアセットマネジメント株式会社	代表取締役会長兼CEO
	ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長
	Carret Holdings, Inc.	Director
	SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	取締役
	SBI地域事業承継投資株式会社	取締役
	住信SBIネット銀行株式会社	取締役
	SBIインシュアランスグループ株式会社	取締役
	SBIネオフィナンシャルサービシズ株式会社	取締役
	SBI岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIスマートエナジー株式会社	取締役
	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIレオスひふみ株式会社	取締役
北尾吉孝	SBIホールディングス株式会社	代表取締役会長兼社長
	SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役会長
	株式会社SBI証券	代表取締役会長
	SBIインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長兼社長
	SBI Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director
	SBIウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長
	SBIファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長
	SBI Crypto株式会社	代表取締役会長
	SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長
	SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役会長
	地方創生パートナーズ株式会社	代表取締役社長
	SBI金融経済研究所株式会社	代表取締役社長
	SBI P T S ホールディングス株式会社	代表取締役会長
	大阪デジタルエクスチェンジ株式会社	代表取締役会長
	SBIキャピタルマネジメント株式会社	代表取締役社長
	SBI P E ホールディングス株式会社	代表取締役
	SBI A L A ファーマ株式会社	代表取締役
	SBIリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
SBIファイナンシャルサービシズ株式会社	取締役会長	

氏名	会社名	役職名
大鶴基成	サン総合法律事務所	客員弁護士
	アウロラ債権回収株式会社	社外取締役
	S B I インシュアランスグループ株式会社	社外監査役
	一般社団法人日本野球機構	調査委員長
ビリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
堀江明弘	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング	取締役
後藤淳夫	S B I アセットマネジメント株式会社	監査役
	ウエルスアドバイザー株式会社	監査役
	S B I オルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	監査役
長野和郎	株式会社三友システムアプライザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
小竹正信	S B I インベストメント株式会社	監査役
	S B I ネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	監査役
	S B I キャピタルマネジメント株式会社	監査役

(4) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の業務執行者および社外役員等としての重要な兼職の状況および当該他の法人等との関係

社外役員の氏名	他の法人等の業務執行者および社外役員等の兼職の状況	
取締役 大鶴基成	サン総合法律事務所	客員弁護士
	アウロラ債権回収株式会社	社外取締役
	SBIインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
取締役 山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
監査役 長野和郎	株式会社三友システムアプレイザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
監査役 小竹正信	SBIインベストメント株式会社	監査役
	SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社	監査役
	SBIキャピタルマネジメント株式会社	監査役

(注) SBIインシュアランスグループ株式会社、SBIインベストメント株式会社、SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社およびSBIキャピタルマネジメント株式会社は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社であります。その他、社外役員の上記の兼職先と当社の間には、特段の関係はありません。

② 当社または当社の主要取引先等特定関係事業者の業務執行取締役等との親族関係

該当事項はありません。

③ 社外役員が当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から受けた役員報酬等の額

社外取締役および社外監査役が、役員を兼任する当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から当事業年度に役員として受けた報酬等の総額は9,600千円であります。

④ 当事業年度における主な活動状況

1) 取締役会および監査役会への出席状況および発言状況等

	活 動 状 況
社外取締役 大鶴基成	当事業年度開催の取締役会13回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に法律的な観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	当事業年度開催の取締役会13回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 山澤 光太郎	当事業年度開催の取締役会13回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 堀江 明弘	当事業年度開催の取締役会13回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に経理・管理業務の観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 長野和郎	当事業年度開催の取締役会13回中12回に出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会14回中13回に出席し、適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 小竹正信	当事業年度開催の取締役会13回のすべてに出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会14回のすべてに出席し、適宜必要な発言を行ないました。

- 2) 社外役員の意見により変更された事業方針等
該当事項はありません。
- 3) 当社の不祥事に関する対応の概要
該当事項はありません。

⑤ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外役員は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、100万円または法令に定める最低責任限度額のいずれか高い額となります。

連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第27期 2024年3月31日現在
資産の部	
流動資産	6,547,470
現金及び預金	3,637,848
売掛金	2,273,701
棚卸資産	3,698
未収入金	146,925
その他	485,296
固定資産	12,076,540
有形固定資産	314,046
建物附属設備	73,919
工具、器具及び備品	23,557
使用権資産	216,568
無形固定資産	2,629,237
のれん	1,633,229
ソフトウェア	986,883
その他	9,124
投資その他の資産	9,133,256
投資有価証券	8,712,813
繰延税金資産	294,214
その他	126,228
繰延資産	1,632
株式交付費	1,632
資産合計	18,625,643

科目	第27期 2024年3月31日現在
負債の部	
流動負債	2,357,550
買掛金	18,765
未払金	1,162,069
短期リース債務	58,881
未払法人税等	430,601
未払消費税等	108,637
その他	578,594
固定負債	157,686
長期リース債務	157,686
負債合計	2,515,237
純資産の部	
株主資本	15,911,449
資本金	3,363,635
資本剰余金	4,528,571
利益剰余金	8,019,263
自己株式	△20
その他の包括利益累計額	52,948
その他有価証券評価差額金	△330,513
為替換算調整勘定	383,462
非支配株主持分	146,008
純資産合計	16,110,406
負債・純資産合計	18,625,643

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第27期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	10,137,596
売上原価	4,917,169
売上総利益	5,220,426
販売費及び一般管理費	3,109,101
営業利益	2,111,325
営業外収益	407,803
受取利息	78,006
受取配当金	181,462
投資有価証券売却益	131,942
その他	16,391
営業外費用	9,017
為替差損	642
株式交付費	7,697
その他	677
経常利益	2,510,110
税金等調整前当期純利益	2,510,110
法人税、住民税及び事業税	615,412
法人税等調整額	273,047
当期純利益	1,621,651
非支配株主に帰属する当期純利益	32,372
親会社株主に帰属する当期純利益	1,589,278

株主総会参考書類

第1号議案 取締役6名選任の件

現任取締役6名全員が、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

プライム市場上場企業に相応しいコーポレート・ガバナンス体制とするため、独立社外取締役候補者4名を含む6名の取締役選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位・担当
1	あさ くら とも や 朝 倉 智 也	代表取締役 再任
2	きた お よし たか 北 尾 吉 孝	取締役 再任
3	おお つる もと なり 大 鶴 基 成	社外取締役 再任 独立 社外
4	Billy Wade Wilder ビリー・ウェード・ワイルダー	社外取締役 再任 独立 社外
5	やま ざわ こう た ろう 山 澤 光 太 郎	社外取締役 再任 独立 社外
6	ほり え あき ひろ 堀 江 明 弘	社外取締役 再任 独立 社外

1. あさくらともや 朝倉 智也

(1966年3月16日生) 所有する当社の株式数 378,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1989年 4月	(株)北海道拓殖銀行 入社	2012年 7月	当社 代表取締役社長 (現任)
1995年 6月	ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 入社	2013年 6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員専務
1998年11月	当社 入社	2018年 6月	SBIホールディングス(株) 専務取締役
2000年 3月	当社 取締役	2019年 2月	Carret Holdings, Inc. Director (現任)
2004年 7月	当社 代表取締役社長	2021年12月	住信SBIネット銀行(株) 取締役 (現任)
2005年12月	当社 代表取締役執行役員COO	2022年 7月	SBIホールディングス(株) 取締役副社長 (現任)
2007年 6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員	2023年 3月	ウエルスアドバイザー(株) 代表取締役 (現任)
2012年 6月	SBIホールディングス(株) 取締役執行役員常務	2023年 6月	SBIアセットマネジメント(株) 代表取締役会長兼CEO (現任)
		2023年 6月	SBIアセットマネジメントグループ(株) 代表取締役社長 (現任)

重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	取締役副社長	住信SBIネット銀行株式会社	取締役
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	代表取締役社長	SBIインシュアランスグループ株式会社	取締役
SBIアセットマネジメント株式会社	代表取締役会長兼CEO	SBIネオフィナンシャルサービス株式会社	取締役
ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長	SBI岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
Carret Holdings, Inc.	Director	SBIスマートエナジー株式会社	取締役
SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	取締役	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
SBI地域事業承継投資株式会社	取締役	SBIレオスひふみ株式会社	取締役

取締役候補者とした理由

朝倉智也氏は、投資信託ほか金融商品に関する卓越した見識と豊富な経験を有し、当社設立時から事業の中心人物として活動してきました。2004年7月からは代表取締役として優れた経営手腕を発揮し、当社グループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、経営全般に関する幅広い見識と豊富な経験を有し、今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要な不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者としたしました。

2. きた お よし たか 北尾 吉孝 (1951年1月21日生) 所有する当社の株式数 183,200株

再任

略歴、当社における地位および担当

1974年 4月	野村證券(株) 入社	2006年 3月	当社取締役執行役員CEO
1995年 6月	ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 常務取締役	2012年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役執行役員社長
1998年 4月	当社代表取締役社長	2012年 7月	当社取締役 (現任)
1999年 7月	ソフトバンク・インベストメント(株) (現 SBIホールディングス(株)) 代表取締役社長	2018年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役社長
		2022年 7月	SBIホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長 (現任)

重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	代表取締役会長兼社長	地方創生パートナーズ株式会社	代表取締役社長
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役会長	SBI金融経済研究所株式会社	代表取締役社長
株式会社SBI証券	代表取締役会長	SBIPTSホールディングス株式会社	代表取締役会長
SBIインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長兼社長	大阪デジタルエクスチェンジ株式会社	代表取締役会長
SBI Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director	SBIキャピタルマネジメント株式会社	代表取締役社長
SBIウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長	SBIPEホールディングス株式会社	代表取締役
SBIファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長	SBIALLAファーマ株式会社	代表取締役
SBI Crypto株式会社	代表取締役会長	SBIリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長	SBIファイナンシャルサービシーズ株式会社	取締役会長
SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役会長		

取締役候補者とした理由

北尾吉孝氏は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の代表取締役会長兼社長として卓越した経営手腕を発揮し、証券・銀行・保険と広範囲にわたる金融サービス事業において、インターネット金融を中心とした金融コンプロマリットを構築したほか、国内外に展開するアセットマネジメント事業やパイオ関連事業を牽引するなどSBIグループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、金融に関する深い知識と実務経験および社外の幅広い人脈を持っており、当社の経営に対して総合的な助言をいただいております。今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者としたしました。

3. おおつるもと なり 大鶴 基成 (1955年3月3日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1980年 4月	検事任官	2011年 8月	最高検公判部長、検事退官 弁護士登録（第一東京弁護士会）
2000年 6月	東京地検特別捜査部副部長（財政経済担当）		サン総合法律事務所所属 客員弁護士（現任）
2001年 4月	法務省刑事局公安課長、司法試験委員		アウロラ債権回収(株)社外取締役（現任）
2002年 8月	東京地検特別捜査部副部長（特殊直告担当）	2012年 7月	一般社団法人日本野球機構 調査委員長（現任）
2005年 4月	東京地検特別捜査部長	2014年 1月	イオンフィナンシャルサービス(株)社外取締役（現任）
2007年 1月	函館地検検事正	2014年 6月	当社 社外取締役（現任）
2008年 1月	最高検検事（財政経済担当）	2015年 6月	SB Iインシュアランスグループ(株)社外監査役（現任）
2010年 3月	東京地検次席検事	2017年 3月	

重要な兼職の状況

サン総合法律事務所	客員弁護士	SB Iインシュアランスグループ株式会社	社外監査役
アウロラ債権回収株式会社	社外取締役	一般社団法人日本野球機構	調査委員長

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

大鶴基成氏は、検事、弁護士としての豊富な知識と経験を有し、法務・コンプライアンスを中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、引き続き同氏を社外取締役候補者とするものであります。

4. Billy Wade Wilder (1950年2月6日生) ビリー・ウェード・ワイルダー 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1986年 4月	シュローダー証券会社 日本株調査部長	2014年 9月	MATT.ER K.K., Senior Consultant & Chief Investment Officer（現任）
1992年12月	フィデリティ投信(株) 入社		マネックスグループ(株) 社外取締役
1995年 9月	同社 代表取締役社長	2016年 4月	Prospect Co., Advisor
2004年 7月	日興アセットマネジメント(株) 代表取締役社長	2016年 4月	当社 社外取締役(現任)
2014年 1月	GIC証券(株) (現GIキャピタル・マネジメント(株)) 取締役	2019年 6月	

重要な兼職の状況

MATT.ER K.K.	Senior Consultant & Chief Investment Officer
--------------	--

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

ビリー・ウェード・ワイルダー氏は、30年以上にわたる国内の資産運用会社での業務、経営経験があり、日本の資産運用業について豊富な知識と経験を有しています。また、上場企業の社外取締役の経験もあります。アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、引き続き社外取締役候補者とするものであります。

5. やまざわ こうたろう (1956年10月8日生) 山澤 光太郎

所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1980年 4月	日本銀行 入行	2017年 6月	株式会社東京商品取引所 社外取締役
1998年 5月	同行大阪支店 営業課長	2018年 9月	ウイングアーク1st株式会社 社外監査役
2000年 7月	同行人事部 人事課長	2019年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外取締役 (現任)
2004年 3月	同行函館支店長	2019年11月	ウイングアーク1st株式会社 社外取締役 (現任)
2010年 4月	株式会社大阪証券取引所 取締役常務執行役員	2020年 5月	HiJoJo Partners株式会社 社外取締役 (現任)
2013年 1月	株式会社日本取引所グループ 常務執行役	2021年 7月	株式会社アグリメディア 常勤監査役
2014年 6月	株式会社日本取引所グループ 専務執行役 株式会社大阪証券取引所 取締役専務執行役員	2022年 6月	当社 社外取締役 (現任)
2015年 4月	株式会社大阪取引所 取締役副社長		
2017年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外監査役		

重要な兼職の状況

イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
ウイングアーク1st株式会社	社外取締役		

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

山澤光太郎氏は、日本銀行、大阪取引所で金融や証券業務に関する豊かな経験と知識を培っており、また、その経営者として深い見識を活かして、アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コンプライアンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

6. ほり え あき ひろ (1959年11月3日生) 所有する当社の株式数 一株 堀江 明弘

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1989年10月	太田昭和監査法人 (現EY新日本有限責任監査法人) 入所	2008年 4月	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング 取締役 (現任)
1993年 4月	公認会計士登録	2016年 6月	株式会社ツクイスタッフ 社外監査役
2002年 7月	税理士法人ブレイン総合会計 代表社員	2018年 6月	同社 社外取締役 (監査等委員)
2006年12月	株式会社パートナーズ・ホールディングス 取締役	2022年 6月	当社 社外取締役 (現任)

重要な兼職の状況

株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング	取締役
---------------------------	-----

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

堀江明弘氏は、公認会計士、税理士として培った会計・税務・監査についての豊富な知識と経験を有しており、経理・管理業務を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

第2号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、補欠の社外監査役1名を選任することをお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

かみ やま とし ゆき
神山 敏之

(1953年10月28日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

独立

社外

略歴

1978年4月	(株)富士銀行(現(株)みずほ銀行)入社	2010年4月	Philippine National Bank 東京支店長兼在日代表
2001年5月	同行 資金部長		
2002年4月	(株)みずほコーポレート銀行 (現(株)みずほ銀行) 市場企画部欧州資金室長	2013年4月	SBIバイオテック(株) 常勤監査役
2004年4月	(株)みずほ銀行 市場営業部長	2016年6月	当社補欠監査役(現在に至る) SBI少短保険ホールディングス(株)監査役
2007年7月	みずほインベスターズ証券(株) (現(株)みずほ証券(株)) 執行役員(金融商品開発部 担当、債権部・営業企画部副担当)	2017年3月	SBIインシュアランスグループ(株) 常勤監査役(現任)

重要な兼職の状況

SBIインシュアランスグループ株式会社 常勤監査役

補欠の社外監査役候補者とした理由

神山敏之氏は、長年にわたり金融および企業経営に関する経験を積み重ね、豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の経営の監督に十分な役割を果たしていただけるものと判断し、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。

以 上

定時株主総会会場ご案内図

会場

パレスホテル東京 4階 山吹

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 TEL 03-3211-5211

交通

JR | 「東京駅」丸の内北口より徒歩約8分

地下鉄 | 「大手町駅」C13b出口より地下通路直結



※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。